令和5年度 議会運営委員会行政視察報告

1. 視察日程 令和5年10月30日(月)～31日(火)
2. 視察場所 高知県香美市役所
3. 視察参加者 杵築市議会運営委員会
委員長 藤本治郎 副委員長 坂本哲知 小春 稔 田中正治
加来 喬、泥谷 修 引率職員 河野 泰
4. 視察事項

【視察テーマ】 「通年議会」について

【日 時】 10月31日(火) 10時～11時45分

【訪 問 先】 高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号 香美市役所

【対 応 者】 香美市長 依光 晃一郎 香美市議会議長 山本 芳男

香美市議会運営委員会 委員長 小松 紀夫

香美市役所議会事務局 係長 横田 恵子

【背 景】

平成18年3月1日に、土佐山田町・香北町・物部村の2町1村が合併して誕生した。

香美市は、高知市から約15～40kmに位置し、JR土讃線土佐山田駅を主要駅に持つ交通の便の良さと、県の空の玄関、高知龍馬空港や四国横断自動車道南国ICに隣接し岡山、京阪神、東京まで最短1～2時間という広域交通網に恵まれている。合併時の人口は、30,257人でありました。令和5年4月1日現在では、25,210人と減少しています。

【視察 内容】

① 通年議会の導入に係る経緯と導入後の議会運営について

通年議会導入の目的として

地方分権の時代において、地方公共団体の責任範囲の拡大や処理する事務の増大等が考えられ、これに対して議会もさらなる政策立案能力や監視機能の充実強化が求められている。市民によって直接選ばれた議員による議会と市長との『二元代表制』の下では、その関係は対等であると言われていています。しかし、現行制度の中では、まだまだ市長の優位性が大きいと言わざるを得ません。ここ数年、議会改革に取り組んでいる地方議会の中では、議会としての活動を発展させ、その対応能力を高めるため。

具体的には、議会活動が中断する『閉会中の期間』を無くすことにより、チェック機能

の充実強化を図るとともに、民意の反映や災害時の緊急対応、大規模災害（南海トラフ地震等）の議会BCP等に対して、議会の機動性を高めることが出来る。

また、専決処分の防止に加え、委員会活動の充実、決算審査を踏まえた次年度の予算に対する提案等、議会が能動的に市政に働きかけることが出来ると考える。

令和2年1月1日 香美市議会定例会条例の一部を改正する条例の制定について

香美市議会定例会条例（平成18年香美市条例第6号）の一部を次のように改正する。

本則第1項中「、毎年4回」を「毎年1回とし、その会期は通年」とする。令和2年から通年議会を導入している。

【意見交換】

議員・・・「亀岡市や他の自治体は議員報酬を引き上げているが、どう考えているか」

委員長・・・「議会運営委員会で検討を始めています。」

議員・・・「通年議会を導入したことで、活動量は増えましたか」

委員長・・・「委員会の調査等は増えたと思います。」

議員・・・「通年議会導入について市民へのPRは」

委員長・・・「市のホームページ、市報で周知しています。」

【所見】

「通年議会」を導入している、高知県香美市議会のお話を聞きました。まだ、大分県では導入している自治体がありませんので、しっかりとした議論が必要だと思います。

そこで、通年議会のメリットですが

- ・議長裁量で本会議を開催できるので、迅速な議会対応が出来る。たとえば、災害などの緊急時の対応のために臨時議会を開催する手続きをふむ必要がなく、迅速に対応出来る。

- ・専決処分が無くなる。

- ・委員会をいつでも開催できる。

通年議会のデメリットとしてですが

- ・議会事務局をはじめ、行政等の事務負担が増える。議会対応、質問の対応が増えることが考えられ、待機が発生する可能性が高い。同時に様々な経費が増大することも考えられる。

- ・予定のなかった会議開催により、議員の日程調整が難しくなる可能性がある。

- ・議員の自己啓発のための勉強会への参加等、政務活動のための時間が短縮される可能性が高い。

以上のことを踏まえますと、結構ハードルの高い制度であると考えられます。今の杵築市では、4月の市議会議員選挙が無投票選挙であったことを考えますと、まずは、議員定数をどうするのかを検討することが最優先課題であると考えられます。通年議会の導入については、他の自治体の動向を注視しながら検討していく必要があると思います。